

整形外科は人の尊厳に関与

運動器の医療を通して

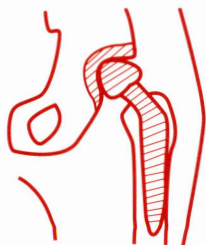
今回も、整形外科の疾病や治療法から少し離れて、整形外科が目指す人間の健康寿命を伸ばす役割についてお話しします。

整形外科学は、脊椎・四肢の機能障害や疾病等を治療する運動器の学問です。運動器は、あまりにも生活に身近すぎて水や空気のように特別視されていませんが、昔は、運動器の損傷は人間の生命をおびやかし、生死を分ける状態に陥る疾病でした。今日でも、日常生活動作に著しい障害をこうむる場合がありますが、特に高齢者にとっては神経・筋肉の伝達や、関節の柔軟性の欠如、骨粗しょう症などの併発によって転倒し易くなり、不名誉な寝たきりや痴呆となるなど、人としての尊厳が失われます。

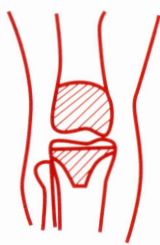
近年、これらを予防するための転倒予防の研究や、失われつつある筋肉、関節の柔軟性を取り戻すパワーリハビリテーションの概念も普及してきました。また、整形外科の医療技術も進歩し、高齢者の転倒によって起こる疾病などの治療法も確立されてきました。寝たきりの原因になる胸腰椎の圧迫骨折、大腿骨頸部骨折などは、新内固定材料の開発と手術による治療で、即動けるようになってきました。また、股関節・膝関節の変形変性疾患は、人工関節の置換手術によって疼痛や歩行不能などの状態から解放されてきました。このほか、関節鏡視下手術、マイクロナサージェリなどで治療の可能性も拡大しています。

整形外科専門医は、運動器の健康・医療を通して健康寿命（人が社会生活に可能な機能を保持していること）に貢献することを念頭に置き、人間の「人としての尊厳」に関与する分野としての使命を果たそうとしています。

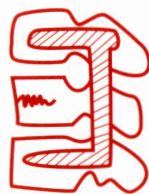
整形外科の技術例



〈人工股関節〉



〈人工膝関節〉



〈脊椎固定用デバイス〉